

錦織監督

映画の現場から



●● 56

ローカルが世界を救う

2013年も残すところあとわずか。皆さんにとっ
て、どんな年だっただろう。
私は映画「渾身」公開の忘
れられない年になった。

人生の節目を迎えた人や
旅立った人、それを見送っ
た人、新しい人生をスター
トさせた人、転換期の人……
70億以上の方が生きてい
る地球で行われている人の
生活は、基本的には何千年
も変わっていないように思
える。

SNS(ソーシャル・ネ
ットワーキング・サービス)
が発達し、情報や乗り物も
「速く」なった。今の時代、
50代そこそこの私ですら
「便利になった」と思う。
丁髷のお侍さんや古墳時代
の人がわれわれの生活を見
たら「神か物の怪、妖怪の
類の仕業だ」と思うだろう。

だが、私を含め人は昔か
ら変わらない。人を羨んだり、
憎んだり、欲しかったり、
軽蔑したり、という心
は無くなっていない。たく

真の活性化は心の豊かさ

さん勉強し、多くの教えを
学んだはずの世界を動かし
ている「偉い人」たちも大
きなミスを繰り返す。

ただ、私が今、たたら製
鉄をモチーフに映画を作ら
うと「出雲の歴史」をあら
ためて見直しているからか
もしれないが、むしろ、近
代の間より古代の方が進
んでいた、という思いもあ
る。

たたら製鉄では溶鉱炉を
土で造り、材料も砂鉄と炭
だけ。三日三晩燃やし続け

ると、見事な純鉄が生まれ
ることも奇跡なら、米と麴
から酒が生まれることも奇
跡だ。

ヒトに限らず、新しい生
命が誕生するのは奇跡であ
り、朝や夜が来ること、陽
がさすこと、雨が降ること、
山から水がわき出ることさ
えも奇跡だ。そこに神を感
じ、多くの伝承を遺してき
てくれた私たちの祖先のメ
ッセージは、国や宗教を超
えて世界に広がる。

今年、私は出雲大社の遷



3昼夜のたたら操業を経て、姿を現した鉤(けら—粗鋼)。祖先たちからのメッセージを感じ取れる—島根県奥出雲町大呂の
日刀保たたら、資料

宮であらためてその偉大さ
を認識し、古代からのメッ
セージを感じた。どんなに
便利になっても、それを使
う人間が成長していなければ
不幸になることを、昔の
人たちは気づいていたのだ
ろう。

釈迦や基督、孔子に孟子
は皆2千年以上前に生ま
れ、その教えは今なお続く。
「温故知新」も2500年
以上前に言われたことだ。

真の活性化はモノの発展
でなく、SNSや便利さで
もなく、心の豊かさに他な
らないということは皆が気
づいているし学んでいる。
でも榮な方が良い、考えた
くない、と思ってしまうの
が人情だ。

便利さから生まれた都会
生活の影から、田舎の山里
や自然豊かな街にイノベー
ションが起る可能性大
だ。鍵をかけずに近所が助
け合い、水も豊富などころ
など、世界中でそう多くは
ない。「古くて新しい古代
の息吹が遺る日本のローカ
ルが世界を救う!」と思う。
そんなメッセージの映画を
来年も紡ぎたい。

(錦織良成・映画監督)

第4金曜掲載